



江代喜 大平

- 一、子どもの未来応援センター
 - 二、総合的な相談支援を行う
 - 三、介護予防活動普及展開事業の取組み
- 基幹相談支援センター

問 子どもの未来応援センターの役割は。

答 妊娠時から子育て期にわたり、切れ目のない支援を提供する。子育て世代の包括支援センターともいうべきソーシャルワークの機能を有し、家庭教育支援チーム「ほっこり」の家庭教育支援員が、家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応を担う。

問 基幹相談支援センターについて

答 基幹相談支援センターは、身体・知的・精神の3障がいを対象に初期相談、専門相談の調整、困難事例の対応等を総合的に行うことが主たる役割である。障がい福祉計画において、設置を計画してきたところであり、今年度から福祉課において整備し、相談支援事業の充実を図る。

問 新たに実施された介護予防活動普及展開事業について

答 大阪府の事業で、本町を含む府内5市町で取り組んでいる。地域ケア会議を専門職と協働して開催し、自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントを実践することや介護サービス事業所として、どのような姿勢や手法で利用者にサービスを提供するかについて理解を深めることを目的としている。そのための実践研修を実施しているところである。



問 本センターでの子どもの貧困対策は。

答 子どもの未来応援センターのみならず、町内関係機関、団体の横断的な連携、協力による取組みはもとより、住民の皆様にご協力いただき、重層的に取り組んでまいりたい。

一般質問



森田 則子

楽しくごみ減量化

問 高齢者対策のための回収方法や住民の利便性を図るためにシール方式の見直しと、配布枚数を検討してもらいたい。

答 これまでも様々なアイデアがあったが、配布枚数などよく吟味して考えていた。

問 時代の変化と共に増えた資源ごみ（ペットボトル・紙類）の回収日を増やしてもらいたい。

答 全体のスケジュールの中で検討していきたい。

若者が住み続けられる魅力あるまちづくり

問 箕面森町第3区域に工業団地が予定され、雇用の幅が拡大される中、

- 一、ごみ回収方法を改善して
 - 二、魅力あふれるまちにしよう
 - 三、パスポート申請を近くで
- 楽しく減量化しよう

本町より通勤者及び町内就職の若者の住宅対策に、家賃補助などの住宅支援を行ってはどうか。

答 住宅補助に限っての人口対策はとれない状況である。

問 「婚活」を町主催で行なってはどうか。

答 町の事業として約束できない。

問 子育て世代に保育料無償化を実施してほしい。

答 本町は、多子軽減、所得制限なしの軽減を実施している。財源を考えると無償化は難しい。

問 今ある施設を利用し遊具をおいた公園を設置してもらいたい。

パスポート申請

問 近隣市での申請手続き要望を6月議会で質問したが、その後の状況は。

答 あと、1市と本町が実施すれば、北摂7市3町の全てが権限委譲を受ける事になることを受け、最速で来年10月から近隣市で開始する方向で現在関係機関と調整している。

